



手を洗おう



消毒しよう



うがいをしよう



マスクをしよう



換気をしよう



うちで過ごそう

## 新規採用常備医薬品等のお知らせ

令和4年1月13日に開催された薬事委員会において、別紙のとおり、新規採用医薬品、削除医薬品の各品目が承認されました。

令和4年2月3日（木）からオーダー開始しました。

## 休日・時間外の処方日数について

2月11日の病院情報システムの更新により、時間外処方の区分がなくなり、オーダー上の処方日数制限がなくなりました。しかし、医療安全上の観点から院内ルールとしては、原則、入院夜間は1日分、休日の前日は休日分+1日分、外来は3日分までとなっておりますので、ご協力をお願いします。

## カルバマゼピン製剤及びバルプロ酸ナトリウム製剤が安定供給されるまでの対応への協力依頼について

厚生労働省より、カルバマゼピン製剤及びバルプロ酸ナトリウム製剤の一部製剤の出荷停止や出荷調整により供給が不安定となっており、これらの製剤が安定的に供給されるまでの間、必要な患者さんが適切なてんかん治療を継続して受けられるよう、一般社団法人日本てんかん学会からの提言を参考として、下記のような対応をするよう協力依頼がありました。

- ・カルバマゼピン製剤及びバルプロ酸ナトリウム製剤によって発作が抑制されている患者さんを最優先として、同薬剤の継続を考慮してください。その際、先発薬・後発薬の切り替えや剤形の変更は血中濃度の変化によって発作の再発や副作用の発現を誘発するおそれがあり、原則として推奨されません。不安定な薬剤供給状況により変更を考慮せざるを得ない場合は、患者・家族への十分な情報提供と同意取得をお願いします。
- ・新たに抗てんかん薬を開始する場合には、カルバマゼピン製剤及びバルプロ酸ナトリウム製剤以外の薬剤も検討してください。薬剤選択においては、ガイドラインや日本てんかん学会専門医の意見を参考にしてください。
- ・カルバマゼピン製剤及びバルプロ酸ナトリウム製剤はもとより、代替の抗てんかん薬の必要以上の確保・購入は控えてください。
- ・カルバマゼピン製剤及びバルプロ酸ナトリウム製剤を処方する場合は、患者さんの不利益にならない範囲で可能な限り長期処方を避けることも検討してください。

## 「アブラキサン点滴静注用100 mg」供給停止のお知らせ(続報)

抗悪性腫瘍剤「アブラキサン点滴静注用100 mg」において、DI-EXPRESS (2021.12)でお知らせしましたように、安定供給に一時的な支障を来すこと、2月下旬頃までは市場に供給できる目処がついたことをお伝えしておりました。

この度、製品の品質に問題のないことが確認できた在庫の国内出荷が新たに可能となったことから、製品の市場への供給が7月頃まで継続できる見通しが立ったとのことです。

今後の安定した供給再開の見込みにつきましては分かり次第、連絡いたします。

引き続き、必要な患者さんへの優先的使用等にご理解・ご協力をお願いします。

## 『クエチアピン錠 25 mg・100 mg「明治」』自主回収のお知らせ

抗精神病剤『クエチアピン錠 25 mg・100 mg「明治」』につきまして、本製品の旧製造委託先である小林化工株式会社が2022年3月末日を以って製造業許可を取り下げ、評価試験を実施する品質管理部門を含む全製造機能を他社に移管することになりました。そのため、小林化工株式会社が製造・販売した製品の品質を担保できなくなること、また、安定性モニタリングあるいは長期保存試験が十分に実施できないことから、本製品で小林化工株式会社が製造し、使用期限が残存している全ロットが自主回収となりました。

当院において対象の製品はすでに使用済みですが、現在までに本件に起因すると考えられる有効性の欠如及び健康被害の報告はありません。

なお、現在流通している本製品におきましては、製造委託先を変更したものであるため、自主回収の対象品はありません。

## 『テモゾロミド錠 20 mg・100 mg「NK」』オーダ再開のお知らせ

抗悪性腫瘍剤『テモゾロミド錠20 mg・100 mg「NK」』につきまして、本剤の製造委託先であった小林化工株式会社に業務停止が下されたことにより製造休止・出荷停止となりました。そのため2021年8月20日より処方オーダを一時停止し、その代替薬として「テモダールカプセル20 mg・100 mg」を一時採用していました。

このたび、新たな製造所が追加となり本剤の供給が再開したことから、2022年1月19日より本剤の処方オーダを再開し、「テモダールカプセル20 mg・100 mg」の処方オーダを停止しました。

## 『ツロブテロールテープ 0.5・1・2「EMEC」』オーダ停止のお知らせ

経皮吸収型・気管支拡張剤『ツロブテロールテープ 0.5・1・2「EMEC」』につきまして、販売会社の成分重複品統合により販売中止になったことから、当院在庫も欠品となったため、2月9日より処方オーダを停止しました。

なお、本剤の代替薬として『ツロブテロールテープ 0.5 mg・1 mg・2 mg「久光」』の処方オーダを2月9日から開始しました。

## 「ソルダクトン静注用 200 mg」オーダ再開のお知らせ

注射用抗アルドステロン剤／水分・電解質代謝改善剤「ソルダクトン静注用 200 mg」につきまして、DI-EXPRESS (2021.12)でお伝えしましたように、海外製造所において他の製品の製造に時間を要したことから本剤に使用する有効成分の製造着手が遅れが発生しました。その結果、企業在庫が欠品し院内在庫も欠品となったため、2021年11月17日より処方オーダを一時停止しておりました。

このたび、本剤の供給が再開したことから、2022年2月3日より本剤の処方オーダを再開しました。

## 警告改訂のお知らせ

◎プロトピック軟膏0.03%小児用(一般名:タクロリムス水和物)＜アトピー性皮膚炎治療剤(免疫抑制外用剤)＞

※以下削除

【警告】マウス塗布がん原性試験において、高い血中濃度の持続に基づくリンパ腫の増加が認められている。また、本剤使用例において関連性は明らかではないが、リンパ腫、皮膚がんの発現が報告されている。本剤の使用にあたっては、これらの情報を患者に対して説明し、理解したことを確認した上で使用すること。

## 禁忌・併用禁忌改訂のお知らせ

◎アラベル内用剤1.5 g(一般名:アミノレプリン酸塩酸塩)＜光線力学診断用剤＞

☆以下削除

【併用禁忌】光線過敏症を起こすことが知られている薬剤：テトラサイクリン系抗生物質、スルホンアミド系製剤、ニューキノロン系抗菌剤、ヒペリシン（セイヨウオトギリソウ抽出物）等、セイヨウオトギリソウ（St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート）含有食品

◎メーゼント錠0.25 mg、2 mg(一般名:シポニモド フマル酸)＜多発性硬化症治療薬＞

※臨時採用医薬品

☆下線部追加

【禁忌】本剤の投与開始前6ヵ月以内に心筋梗塞、不安定狭心症、入院を要する非代償性心不全、NYHA分類Ⅲ度又はⅣ度の心不全を発症した患者

◎ロナセン錠2 mg、4 mg、8 mg、テープ40 mg(一般名:プロナンセリン)＜抗精神病剤＞

※8 mgは院外専用医薬品

☆下線部追加

【併用禁忌】ポサコナゾール（ノクサフィル）

## 出荷調整のお知らせ

下記薬剤について、出荷調整の連絡がありました。今後の安定した供給再開の見込みにつきましては、分かり次第、連絡致します。

◎HMG 筋注用 150 単位「F」(一般名:下垂体性性腺刺激ホルモン)＜ヒト下垂体性性腺刺激ホルモン剤＞

◎ジェイゾロフト錠 50 mg(一般名:セルトラリン塩酸塩)＜選択的セロトニン再取り込み阻害剤＞

◎ディレグラ配合錠(一般名:フェキソフェナジン塩酸塩/塩酸ブソイドエフェドリン配合錠)＜アレルギー性疾患治療剤＞

◎レルパックス錠 20 mg(一般名:エレクトリプタン臭化水素酸塩)＜5-HT<sub>1B/1D</sub> 受容体作動型片頭痛治療剤＞

## 一時欠品・出荷停止のお知らせ

下記薬剤について、一時欠品・出荷停止の連絡がありました。今後の安定した供給再開の見込みにつきましては、分かり次第、連絡致します。

＜一時欠品＞

◎ジェイゾロフト錠 25 mg(一般名:セルトラリン塩酸塩)

＜選択的セロトニン再取り込み阻害剤＞※100錠（10錠PTP×10シート）包装のみ

＜出荷停止＞

◎腓外分泌機能検査用 PFD 内服液(一般名:ベンチロミド)＜腓機能検査用試薬＞ ※臨時採用医薬品

## 販売中止のお知らせ

◎デラキシ配合顆粒(一般名:アスコルビン酸・パントテン酸カルシウム)＜ビタミンC・パントテン酸カルシウム製剤＞

販売中止予定時期:2022年7月頃

経過措置期間満了日:2024年3月31日(予定)

## 効能・効果、用法・用量追加のお知らせ

※追加部抜粋

### ◎レンビマカプセル 4 mg、10 mg(一般名:レンバチニブメシル酸塩) <抗悪性腫瘍剤>

※10 mg は臨時採用医薬品

【効能・効果】がん化学療法後に増悪した切除不能な進行・再発の子宮体癌

【用法・用量】ペムプロリズマブ(遺伝子組換え)との併用において、通常、成人にはレンバチニブとして1日1回20 mgを経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。

### ◎アクテムラ点滴静注用 80 mg、200 mg(一般名:トシリズマブ(遺伝子組換え))

<ヒト化抗ヒトIL-6レセプターモノクローナル抗体>

【効能・効果】SARS-CoV-2による肺炎(ただし、酸素投与を要する患者に限る)

【用法・用量】通常、成人には、副腎皮質ステロイド薬との併用において、トシリズマブ(遺伝子組換え)として1回8 mg/kgを点滴静注する。症状が改善しない場合には、初回投与終了から8時間以上の間隔をあけて、トシリズマブ(遺伝子組換え)として8 mg/kgを1回追加投与できる。

## 適正使用のお願い

### ◎アトニン-O 注5単位(一般名:オキシトシン) <オキシトシン製剤>

### ◎プロスタルモン-F注射液 1000(一般名:ジノプロスト) <プロスタグランジン F<sub>2α</sub>製剤>

公益財団法人日本医療機能評価機構から公表された「第11回 産科医療補償制度 再発防止に関する報告書 ~産科医療の質の向上に向けて~」において、子宮収縮薬使用事例(2009年~2014年の集計結果)は517件(オキシトシン442件、プロスタグランジンF<sub>2α</sub>69件、プロスタグランジンE<sub>2</sub>113件:重複あり)みられましたが、これらの中に、子宮収縮薬の使用についての説明と同意及び分娩監視装置による胎児心拍数モニターが十分でない事例が報告されています。

本剤を含む子宮収縮薬の使用にあたっては、添付文書「警告」及び「重要な基本的注意」の項のとおり、下記の事項に十分に留意するようお願いいたします。

- ・本剤を用いた分娩誘発、微弱陣痛の治療(アトニン-O注)/陣痛誘発、陣痛促進、分娩促進(プロスタルモン-F注射液)の必要性及び危険性を十分説明し、同意を得てからご使用ください。
- ・本剤投与中は、トイレ歩行時等、医師が必要と認めた場合に一時的に分娩監視装置を外すことを除き分娩監視装置を用いて連続的にモニタリングを行い、異常が認められた場合には、適切な処置を行ってください。

## 包装追加のお知らせ

### ◎メソトレキセート点滴静注用 200 mg(一般名:メソトレキセート) <抗悪性腫瘍剤(葉酸代謝拮抗剤)>

メソトレキセート点滴静注液の供給問題について、この度、安定供給確保のための製造所追加について承認を取得されたため、追加包装品の出荷が開始されます。従来から流通している現行品と新たに並行して出荷される追加包装品はバイアルの形状およびキャップの色等が異なります。

メソトレキセート点滴静注用 200 mg		
	現行品	追加包装品
バイアル形状	縦: 49 mm、横: 22 mm	縦: 46 mm、横: 26 mm
キャップの色	オレンジ	緑
有効成分の量	204 mg/8 mL	210 mg/8 mL
採取容量	8.6 mL	8.4 mL

現行品及びメソトレキセート点滴静注との混注が可能です。

追加包装品は現行品と同様、製造時に増し仕込み設定しています。追加包装品では、現行品より3%濃い濃度になりますが、予測される血中濃度変化はわずかであり、両製剤での安全性には差はないと考えられます。

## 包装変更のお知らせ

◎ゼビュディ点滴静注液 500 mg(一般名:ソトロピマブ(遺伝子組換え))<抗 SARS-CoV-2 モノクローナル抗体>

※特例承認医薬品

封入箱:英語表記→日本語表記

## 販売名変更のお知らせ

※在庫がなくなり次第、変更します。

変更前		変更後	旧販売名製品の経過措置満了日(見込み)
ナロキソン塩酸塩静注 0.2 mg「第一三共」	→	ナロキソン塩酸塩静注 0.2 mg「AFP」	2022年9月30日予定

## 院内副作用報告

院内において以下の副作用が報告されましたのでお知らせいたします。

医薬品名	副作用
キイトルーダ点滴静注	薬剤性間質性肺炎

上記薬剤を使用する際には、副作用の発現にご注意ください。

## 医薬品・医療機器等安全性情報 No. 389

### ★病院における高齢者のポリファーマシー対策の始め方と進め方について

高齢化の進展に伴い、加齢による生理的な変化や複数の併存疾患を治療するための医薬品の多剤服用等によって、安全性の問題が生じやすい状況があることから、厚生労働省では、平成29年4月に「高齢者医薬品適正使用検討会」(以下、「検討会」という。)を設置し、高齢者の薬物療法における安全性確保に必要な事項の調査・検討を進めてきた。

検討会では、これまでに「高齢者の医薬品適正使用の指針」を取りまとめてきたほか、令和2年度にはポリファーマシー対策の取組みを始める際や業務運用体制を体系的に構築・運営する際に役立てていくための業務手順書・様式事例集(以下、「業務手順書等」という。)として「病院における高齢者のポリファーマシー対策の始め方と進め方」を取りまとめた。本稿では、検討会のこれまでの取組みや、ポリファーマシー対策を様々な医療機関で取り組んでいただくための業務手順書等について紹介する。

### ★重要な副作用等に関する情報

以下の医薬品の使用上の注意のうち、重要な副作用等について改訂(追加)したので内容を紹介する。

#### ◎フィンゴリモド塩酸塩(商品名:イムセラカプセル0.5 mg) <多発性硬化症治療剤>

【重要な基本的注意】血小板減少があらわれることがあるため、本剤投与開始前及び投与中は定期的に血液検査(血球数算定等)を行うこと。

本剤の投与中止後に、投与開始前より重度の疾患増悪が報告されており、投与中止後概ね24週までに認められている。投与を中止する場合には、重度の疾患増悪に留意すること。

【重大な副作用】血小板減少

※血小板減少関連症例:0例

※投与中止後の重度の疾患増悪関連症例:18例(うち死亡0例)

直近約3年度(平成30年4月~令和3年3月)

医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ(<http://www.pmda.go.jp/>)又は厚生労働省ホームページ(<http://www.mhlw.go.jp/>)から確認可能。

## &lt;別紙&gt;新規採用医薬品・削除医薬品等一覧

## 【1】新規採用依頼医薬品

## ①常備医薬品(合計6品目)

2022年2月3日オーダ開始予定

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
1	エムガルティ皮下注シリンジ 119	注	120mg	-	44940.0	第一三共	Galcanezumab(Genetical Recombination) 片頭痛治療薬(ヒト化抗CGRPε/κ-α1抗体製剤) ★片頭痛発作時に発現が認められるCGRPに特異的に結合する、ヒト化抗CGRPε/κ-α1抗体 ★片頭痛における発症抑制薬の中でも、新規作用機序を有する薬剤であり、既存の治療剤で治療に難航していた患者にとって、新たな治療の選択肢となる ★本剤はローディングドーズ法を採用しており、初回用量投与することによって、片頭痛発症抑制薬としての有効性・即効性を共に期待でき、片頭痛発作によってQOLが低下していた患者の治療満足度を向上させることができる ※臨時採用薬として購入歴あり 【発売:2021/4/26】
1	ケンブリタ皮下注ペン 119	注	20mg	劇	230860.0	ノバルティスファーマ	Ofatumumab(Genetical Recombination) 多発性硬化症治療剤(ヒト型抗CD20ε/κ-α1抗体) ★多発性硬化症に対する初めてのB細胞を標的とした完全ヒト抗CD20ε/κ-α1抗体製剤 ★本剤は、B細胞及び一部T細胞サブセット表面に発現したCD20に特異的に結合し、補体依存性細胞傷害(CDC)活性及び抗体依存性細胞傷害(ADCC)活性により標的細胞を溶解させることにより免疫反応を抑制し、炎症性脱髄の形成及び進行を抑制する ★安全かつ簡便な投与を可能とするペン型のオートインジェクター製剤 ※使用量が多いため、臨時採用から常備へ 【発売:2021/5/24】
1	タルグレチン 429	cap	75mg	劇 ハイリスク	2849.7	ミノファークン製薬	Bexarotene 抗悪性腫瘍剤 皮膚T細胞性リンパ腫治療剤 ★本剤は、レチノイドX受容体へ選択的に結合し、転写を活性化することにより、腫瘍細胞のアポトーシス誘導及び細胞周期停止作用を示し、腫瘍増殖を抑制する ★皮膚T細胞性リンパ腫の早期から進行期までの幅広い病期において皮膚病変を改善する ★1日1回の経口投与 ★導入時は入院下で投与 ※使用量が多いため、臨時採用から常備へ 【発売:2016/6/23】
1	ハベンチオ点滴静注 429	注	200mg	劇 ハイリスク	196289.0	メルクバイオファーマ	Avelumab(Genetical Recombination) 抗悪性腫瘍剤(ヒト型抗ヒトPD-L1ε/κ-α1抗体) ★転移性・根治切除不能の腎細胞癌において1stライン治療として推奨薬剤である ★進行性・転移性尿路上皮癌の1次化学療法後の維持療法として他に有効な治療薬が少なく、大規模臨床試験において対照群に対し、予後延長効果を示した薬剤である ★転移性メルケル細胞癌に対して、唯一保険適応のある薬剤 ※使用量が多いため、臨時採用から常備へ 【発売:2017.11.22】
1	ビラゾOD 449	錠	20mg	-	66.8	大鵬薬品工業	Bilastine アレルギー性疾患治療剤(抗ヒスタミン薬) ★唾液で服用可能な口腔内崩壊錠 ★普通錠と同薬価 【発売:2021.12.10】
1	ボシユリフ 429	錠	100mg	劇 ハイリスク	3861.2	ファイザー	Bosutinib Hydrate 抗悪性腫瘍剤(チロシンキナーゼインヒター) 慢性骨髄性白血病治療剤 ★Abl及びSrcチロシンキナーゼを標的とした選択的阻害剤 ★イマチニブ耐性の変異型Bcr-Ablチロシンキナーゼ16種類に対し、阻害活性が認められている ★1日1回の食後経口投与 ★本剤は、従来のグリベックやスプリセル等と比較して血管関連有害事象が少なく、かつ慢性骨髄性白血病に対する同等の有効性が報告されている ※使用量が多いため、臨時採用から常備へ 【発売:2014.12.5】

## ⑥臨時採用医薬品(合計6品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
6	アセレント 322	注	100μg	劇	1,648.0	藤本製薬	Sodium Selenite 低セレン血症治療剤 ★本剤は注射剤であるため、経口摂取が困難又は経腸的な吸収が不十分な患者に対して使用できる ★単一の有効成分であるため他の栄養成分の摂取量と独立して用量調整が可能である ※緊急購入薬として購入歴あり 【発売:2019/6/6】

6	イムブルिका 429	cap	140mg	劇 ハイリスク	10,134.8	ヤンセンファーマ	Ibrutinib 抗悪性腫瘍剤(ブルトン型チロシンキナーゼ阻害剤) ★フルトン型チロシンキナーゼ(BTK)の強力な低分子阻害剤であり、BTK活性部位のシステイン残基に共有結合して酵素活性を持続的に阻害する ★難治性の慢性GVHDに対して、適応追加となった ★本剤により、慢性GVHDによる諸症状(口渇、脱毛、皮膚症状)の改善、QOLの改善が期待できる ※緊急購入薬として購入歴あり 【発売:2016/5/25】
6	クアンリタ 429	錠	17.7mg	劇 ハイリスク	20,059.6	第一三共	Quizartinib Hydrochloride 抗悪性腫瘍剤(FLT3阻害剤) ★既存の化学療法に抵抗性のFLT3-ITD変異陽性の急性骨髄性白血病に対する治療薬として使用 ※緊急購入薬として購入歴あり 【発売:2019/10/10】
6			26.5mg		27,074.4		
6	エフリスティ 119	ドライシロ ブ	60mg	劇	974,463.7	中外製薬	Risdiplam 脊髄性筋萎縮症(SMA)治療剤 ★ SMAは、SMN1遺伝子の両方の対立遺伝子の機能喪失変異による常染色体劣性(潜性)遺伝疾患であり、SMNタンパク質の欠乏により発症する ★経口投与によって各組織に分布し、SMN2 pre-mRNA の選択的スプライシングを修飾して、完全長 mRNA を産生する方向へシフトさせ、機能性SMNタンパク質の産生量を増加させる ★1日1回食後に経口投与 【発売:2021/8/12】
6	デカトロン 245	錠	4mg	-	29.9	日医工	Dexamethasone 副腎皮質ホルモン製剤 ★AL730プロトランスに対するBCD療法を実施するにあたってデカトロン錠を使用するが、当院採用の0.5mg錠は規格が小さいため、一回の内服量が40錠になり現実的で無い ★内服数の減少による服薬アドヒアランスの向上が見込まれる ※緊急購入薬として購入歴あり 【発売:2014/6/20】

⑦院外専用医薬品(合計4品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
7	アボネックス筋注用シリンジ 639	注	30μg	劇	40,520.0	ハイオジェン・ジャ パン	Interferon Beta-1a(Genetical Recombination) 多発性硬化症治療剤(遺伝子組換え型インターフェロンβ-1a製剤) ★ケンブリタ皮下注 20mg へん採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更する 【発売:2006/11/8】
7	ゾーミックRM 216	錠	2.5mg	劇	639.6	沢井製薬	zolmitriptan 片頭痛治療薬(5-HT <sub>1B/1D</sub> 受容体作動薬) ★エムガルティ皮下注120mgシリンジ採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更する 【発売:2002/6/14】
7	ボグリボースOD「マイラン」 396	錠	0.3mg	ハイリスク	12.6	マイラン製薬	Voglibose 糖尿病治療薬(食後過血糖改善剤) ★ボシュリ7錠100mg採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更する 【発売:2009/11/13】
7	ルコナック爪外用液5% 629	外用	3.5g/本	-	868.5/g	佐藤製薬	Luliconazole 爪白癬治療剤(アゾール系抗真菌薬) ★タルグレンカプセル75mg採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更する 【発売:2016/4/25】

【2】新薬申請時に挙げられた削除可能医薬品(合計1品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	削除理由
1	シスプラチン「日医工」	注	25mg	劇 ハイリスク	ハベンチオ点滴静注200mg採用の場合、削除 ※同成分薬:シスプラチン注10mg、50mg「日医工」が常備医薬品として採用あり

※削除可能医薬品は、次回薬事委員会までに全診療科に確認を行い、診療、治療上問題のない場合、次回薬事委員会の承認を経て、削除します。  
ただし、治療に問題のある場合は、削除可能医薬品の変更等の手続きが必要となります。

【3】削除医薬品(合計12品目)

2022年2月3日に削除または移行予定

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	削除理由
7	アダラートCR	錠	20mg	劇	ヘリキューホ錠10mg採用のため削除 ※同成分薬:ニフェジピンCR錠20mg「NP」が常備医薬品として採用あり
1	アボネックス筋注用シリンジ	注	30μg	劇	ケンブリタ皮下注 20mg へん採用のため、区分7へ移行
1	エカトNa66.7%「サワイ」	顆粒	1.5g/包	-	カイトリル注1mg採用のため削除
1	ザンタック	注	50mg	-	ヘムライプラ皮下注105mg採用のため削除
1	ゾーミックRM	錠	2.5mg	劇	エムガルティ皮下注120mgシリンジ採用のため、区分7へ移行
11	タイロゲン	筋注	0.9mg	-	使用しなくなったため削除
1	ノボラピット注フレックスタッチ	注	300U/本	劇 ハイリスク	インスリンアスパルトBS注ソスターNR「サワイ」採用のため削除
1	ピラノア	錠	20mg	-	ピラノアOD錠20mg採用のため削除

1	ホクワリボースOD「マイラン」	錠	0.3mg	ハイリスク	ホシユリ錠100mg採用のため、区分7へ移行
1	ルコナック爪外用液5%	外用	3.5g/本	-	タルクレチンカプセル75mg採用のため、区分7へ移行
11	レキエニール HCa 2.5 腹膜透析液シングルパック・機器専用	注	5000mL	-	使用しなくなったため削除
11	レゲテクト	錠	333mg	-	使用しなくなったため削除

#### 【4】特例承認医薬品の採用について

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
9	ラゲブリア	cap	200mg	-	-	MSD	Molnupiravir 経口抗ウイルス剤(SARS-CoV-2感染症治療剤) ★プロドラッグであり、活性型NHC-TPがウイルス由来RNA依存性RNAポリメラーゼによりウイルスRNAに取り込まれた結果、ウイルスゲノムのエラー頻度が増加し、ウイルスの増殖を阻害 ★SARS-CoV-2による感染症の症状が発現してから速やかに投与開始 ★18歳以上の患者に、1回800mgを1日2回、5日間経口投与 【特例承認:2021/12/24】

#### 【5】報告事項

##### 1)緊急使用医薬品の薬剤部長承認について

##### ①緊急使用医薬品(合計5品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効等
11	イムブールカ429	cap	140mg	劇 ハイリスク	10,134.8	ヤンセンファーマ	※臨時採用医薬品(区分⑥)にて申請あり
11	セレスタミン配合245	錠	ベタメタゾン0.05mg d-クロルフェニラミンマレイン酸塩0.4mg	-	8.6	高田製薬	Betamethasone/d-Chlorpheniramine Maleate 副腎皮質ホルモン・抗ヒスタミン配合剤 ★本剤にはそれぞれ異なる作用機序を有する副腎皮質ホルモン剤と抗ヒスタミン剤が配合されているため、湿疹・皮膚炎、アレルギー性鼻炎等のアレルギー性疾患に対し速効的に作用する ★急性GVHDによる皮膚掻痒感を改善するために、前医で本剤を服用することで夜間睡眠が確保できるようになったが、当院では採用がなく、また、当院採用の他の抗ヒスタミン剤では効果無効であったため 【発売:1965/3/1】
11	デカトロン245	錠	4mg	-	29.9	日医工	※臨時採用医薬品(区分⑥)にて申請あり
11	ノボセプンHI静注用シリンジ634	注	5mg	生	406,316.0	ノボルディスクファーマ	Eptacog Alfa(Activated) (Genetical Recombination) 遺伝子組換え活性化型血液凝固第VII因子製剤
11	パドセブ点滴静注用429	注	30mg	劇 ハイリスク	99,609.0	アステラス製薬	Enfortumab Vedotin (Genetical Recombination) 抗悪性腫瘍剤(抗Nectin-4抗体微小管阻害薬複合体) ★本剤は、抗Nectin-4ヒト型IgG1モノクローナル抗体と微小管重合阻害作用を有するMMAEを、リンカーを介して共有結合させた抗体薬物複合体である ★腫瘍細胞の細胞膜上に発現するNectin-4に結合し、細胞内に取り込まれた後にプロテアーゼによりリンカーが切断され、MMAEが細胞内に遊離する。遊離したMMAEは微小管に結合し、細胞分裂を阻害してアポトーシスを誘導すること等により、腫瘍増殖抑制作用を示すと考えられている ★白金系抗悪性腫瘍剤及びPD-1/PD-L1阻害剤による治療歴を有する局所進行性又は転移性尿路上皮癌患者において、全生存期間の延長及び臨床的ベネフィットが確認されている 【発売:2021/11/30】

※緊急使用医薬品は、薬剤部長が申請者に対しヒアリングを行った上で、薬剤部長が決裁を行うこととされています。ただし、継続して使用する場合は、次回の薬事委員会において、採用区分に沿った正式な申請を行うこととなります。

##### 2)供給停止に伴う代替薬の採用等について

現在	代替薬
(後)ハルプロ酸Na徐放顆粒40%「フジナカ」 (22.2円/g)	→ 一時的に、院内処方(先)セレンカR顆粒40%(28.6円/g)、院外処方は一般名処方 2021年12月28日切替済

##### 3)供給停止解除に伴う処方オーダー再開について

乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン「タケダ」 → 2021年11月22日処方オーダー再開(安定供給になるまでは処方オーダーを制限)

※取り扱いに注意を要する薬剤について下記区分を記載しています。

麻:麻薬、毒:毒薬、劇:劇薬、向:向精神薬、特生:特定生物由来製品、生:生物由来製品(20年間記録保存が必要な薬剤に限る)、ハイリスク:当院における医療安全上注意を要する薬剤

※採用区分(1:常備医薬品、2:救急用医薬品、3:製剤原料用薬品、4:自由診療医薬品(薬価基準非収載医薬品)、5:再生医療等製品、6:臨時採用医薬品、7:院外専用医薬品、8:臨床研究用医薬品、9:特例承認医薬品、10:放射性医薬品、11:緊急使用医薬品)